

ダイワ・ブラジル・リアル債 α (毎月分配型) ースーパー・ハイインカムー α 50コース／ α 100コース

運用報告書（全体版）

第42期（決算日 2018年 8 月17日）
第43期（決算日 2018年 9 月18日）
第44期（決算日 2018年10月17日）
第45期（決算日 2018年11月19日）
第46期（決算日 2018年12月17日）
第47期（決算日 2019年 1 月17日）

（作成対象期間 2018年7月18日～2019年1月17日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2015年1月26日～2020年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主要投資対象	α 50コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α 100コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル・リアル建債券へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3254>

<3255>

α50コース

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J P モ ル ガ ン GBI-EM ブロード・ ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末 (2016年 8 月17日)	6,992	80	△ 0.5	8,507	△ 2.3	0.0	98.5	331
19期末 (2016年 9 月20日)	6,842	80	△ 1.0	8,474	△ 0.4	—	99.2	331
20期末 (2016年10月17日)	7,245	80	7.1	9,101	7.4	0.0	99.4	354
21期末 (2016年11月17日)	6,964	80	△ 2.8	8,803	△ 3.3	0.0	99.3	321
22期末 (2016年12月19日)	7,344	80	6.6	9,791	11.2	0.0	99.7	762
23期末 (2017年 1 月17日)	7,595	80	4.5	10,294	5.1	0.0	99.3	885
24期末 (2017年 2 月17日)	7,895	80	5.0	10,964	6.5	0.0	98.3	602
25期末 (2017年 3 月17日)	7,850	80	0.4	11,048	0.8	0.0	96.4	1,118
26期末 (2017年 4 月17日)	7,587	80	△ 2.3	10,571	△ 4.3	0.0	99.8	1,133
27期末 (2017年 5 月17日)	7,888	80	5.0	11,375	7.6	0.0	99.8	1,224
28期末 (2017年 6 月19日)	7,200	80	△ 7.7	10,503	△ 7.7	0.0	99.7	1,228
29期末 (2017年 7 月18日)	7,503	80	5.3	11,218	6.8	—	99.7	1,343
30期末 (2017年 8 月17日)	7,425	80	0.0	11,246	0.2	—	98.0	1,371
31期末 (2017年 9 月19日)	7,569	80	3.0	11,667	3.7	—	94.5	1,498
32期末 (2017年10月17日)	7,462	80	△ 0.4	11,696	0.3	—	99.4	1,005
33期末 (2017年11月17日)	7,142	80	△ 3.2	11,353	△ 2.9	—	99.0	1,139
34期末 (2017年12月18日)	7,055	80	△ 0.1	11,351	△ 0.0	—	99.5	1,168
35期末 (2018年 1 月17日)	7,166	80	2.7	11,582	2.0	—	99.6	1,169
36期末 (2018年 2 月19日)	6,898	80	△ 2.6	11,260	△ 2.8	—	99.2	923
37期末 (2018年 3 月19日)	6,832	80	0.2	11,232	△ 0.3	—	99.5	820
38期末 (2018年 4 月17日)	6,611	80	△ 2.1	10,987	△ 2.2	—	99.6	799
39期末 (2018年 5 月17日)	6,245	80	△ 4.3	10,479	△ 4.6	—	98.5	767
40期末 (2018年 6 月18日)	5,734	80	△ 6.9	9,955	△ 5.0	—	98.4	662
41期末 (2018年 7 月17日)	5,751	80	1.7	10,032	0.8	—	99.1	667
42期末 (2018年 8 月17日)	5,555	80	△ 2.0	9,834	△ 2.0	—	98.8	561
43期末 (2018年 9 月18日)	5,078	80	△ 7.1	9,314	△ 5.3	—	86.9	477
44期末 (2018年10月17日)	5,755	80	14.9	10,910	17.1	—	99.1	446
45期末 (2018年11月19日)	5,737	80	1.1	11,085	1.6	—	99.1	435
46期末 (2018年12月17日)	5,566	80	△ 1.6	10,840	△ 2.2	—	99.1	410
47期末 (2019年 1 月17日)	5,531	80	0.8	11,037	1.8	—	99.0	408

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は 、 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

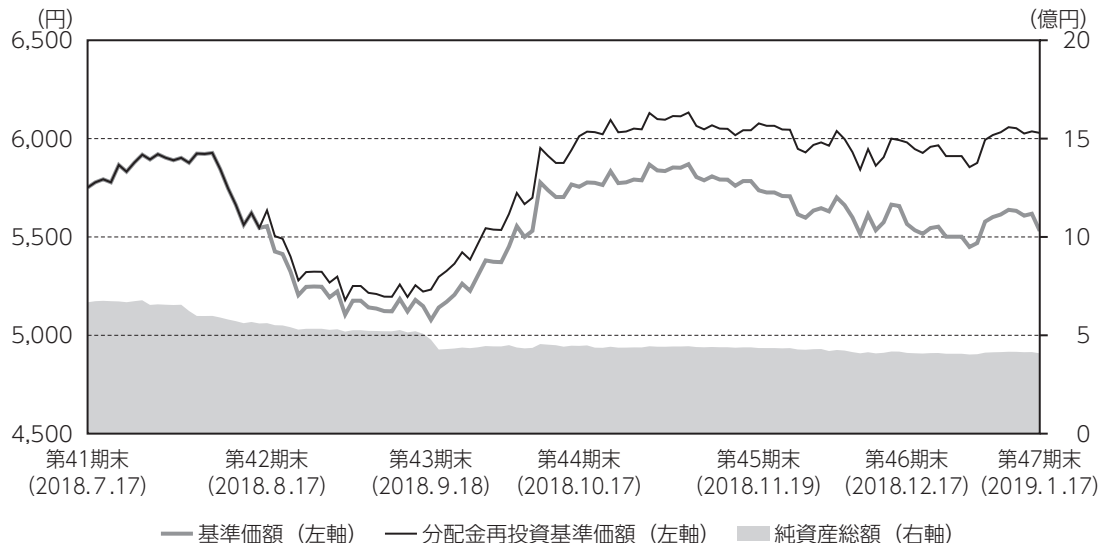
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第42期首：5,751円

第47期末：5,531円（既払分配金480円）

騰落率：4.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、為替相場下落は基準価額下落要因となりましたが、債券の利息収入やオプションのプレミアム収入、債券価格の上昇は基準価額の上昇要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2018年 7 月17日	円 5,751	% -	10,032	% -	% -	% 99.1
	7 月末	5,903	2.6	10,372	3.4	-	99.2
	(期末) 2018年 8 月17日	5,635	△ 2.0	9,834	△ 2.0	-	98.8
第43期	(期首) 2018年 8 月17日	5,555	-	9,834	-	-	98.8
	8 月末	5,105	△ 8.1	9,133	△ 7.1	-	99.0
	(期末) 2018年 9 月18日	5,158	△ 7.1	9,314	△ 5.3	-	86.9
第44期	(期首) 2018年 9 月18日	5,078	-	9,314	-	-	86.9
	9 月末	5,381	6.0	9,894	6.2	-	98.5
	(期末) 2018年10月17日	5,835	14.9	10,910	17.1	-	99.1
第45期	(期首) 2018年10月17日	5,755	-	10,910	-	-	99.1
	10月末	5,838	1.4	11,195	2.6	-	99.1
	(期末) 2018年11月19日	5,817	1.1	11,085	1.6	-	99.1
第46期	(期首) 2018年11月19日	5,737	-	11,085	-	-	99.1
	11月末	5,646	△ 1.6	10,864	△ 2.0	-	97.0
	(期末) 2018年12月17日	5,646	△ 1.6	10,840	△ 2.2	-	99.1
第47期	(期首) 2018年12月17日	5,566	-	10,840	-	-	99.1
	12月末	5,449	△ 2.1	10,775	△ 0.6	-	99.1
	(期末) 2019年 1 月17日	5,611	0.8	11,037	1.8	-	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.7.18～2019.1.17)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

大統領選挙において、市場に不人気なルラ元大統領の出馬が認められず、構造改革に理解を示すボルソナロ氏が優位に立つと、金利は低下しました。ボルソナロ氏が大統領選挙に勝利した後も、改革姿勢を示したことに加えてインフレ率が低位推移となり、ブラジル中央銀行の利上げ観測が後退したことなどから、金利は一段と低下しました。

■為替相場

ブラジル・レアルの対円為替相場はわずかに下落しました。

2018年8月に、新興国市場への懸念からブラジル・レアルは対円で下落しましたが、その後は、大統領選挙の結果を好感してレアルは買い戻されました。2018年末にかけては、世界的な株価調整を背景としたリスク回避的な円買いもあり、レアルは対円で当作成期首と比べてわずかに下落して当作成期末を迎えました。

■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）は、わずかに低下しました。

インプライド・ボラティリティは、大統領選挙前には不透明感から上昇しましたが、大統領選挙後は低下しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

■ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018.7.18～2019.1.17)

■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

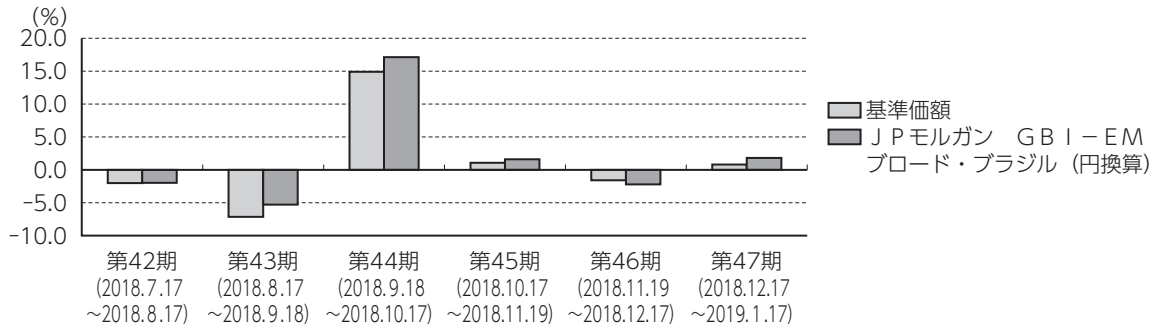
通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2018年7月18日 ～2018年8月17日	2018年8月18日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月17日	2018年10月18日 ～2018年11月19日	2018年11月20日 ～2018年12月17日	2018年12月18日 ～2019年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（％）	1.42	1.55	1.37	1.38	1.42	1.43
当期の収益（円）	72	70	68	80	66	68
当期の収益以外（円）	7	9	11	—	13	11
翌期繰越分配対象額（円）	2,717	2,707	2,695	2,698	2,686	2,674

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 72.88円	✓ 70.51円	✓ 68.01円	✓ 82.43円	✓ 66.71円	✓ 68.44円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,405.56	2,407.04	2,407.64	2,409.77	2,415.37	2,415.77
(d) 分配準備積立金	✓ 318.70	✓ 310.10	✓ 300.03	286.29	✓ 283.96	✓ 270.27
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,797.15	2,787.67	2,775.70	2,778.51	2,766.05	2,754.50
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,717.15	2,707.67	2,695.70	2,698.51	2,686.05	2,674.50

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期 (2018.7.18～2019.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.611%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,578円です。
（投 信 会 社）	(12)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(21)	(0.380)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0.105	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(6)	(0.105)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.720	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	1,402.9598	51,375	7,857.37937	283,931

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

第 42 期				～	第 47 期			
買		付			売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	325.99052	11,900	36		DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	7,857.37937	283,931	36

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島）	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	10,933.40147	404,404	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	49	49

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年1月17日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	404,404	97.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	10,256	2.5
投資信託財産総額	414,711	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年8月17日)、(2018年9月18日)、(2018年10月17日)、(2018年11月19日)、(2018年12月17日)、(2019年1月17日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
(A) 資産	570,507,554円	609,837,959円	465,208,682円	441,679,467円	416,669,614円	414,711,365円
コール・ローン等	15,219,891	13,017,641	13,307,091	10,505,065	10,049,862	10,256,806
投資信託受益証券(評価額)	555,237,738	415,134,398	441,871,671	431,124,487	406,569,841	404,404,653
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,925	49,920	49,920	49,915	49,911	49,906
未収入金	－	181,636,000	9,980,000	－	－	－
(B) 負債	8,746,369	132,343,319	19,115,896	6,565,110	6,309,277	6,347,934
未払金	－	90,818,000	4,990,000	－	－	－
未払収益分配金	8,090,394	7,522,640	6,201,223	6,067,200	5,897,726	5,906,530
未払解約金	－	33,431,765	7,487,556	－	－	－
未払信託報酬	651,498	562,770	426,198	483,585	394,696	421,729
その他未払費用	4,477	8,144	10,919	14,325	16,855	19,675
(C) 純資産総額(A－B)	561,761,185	477,494,640	446,092,786	435,114,357	410,360,337	408,363,431
元本	1,011,299,280	940,330,053	775,152,984	758,400,049	737,215,854	738,316,341
次期繰越損益金	△ 449,538,095	△462,835,413	△329,060,198	△323,285,692	△326,855,517	△329,952,910
(D) 受益権総口数	1,011,299,280口	940,330,053口	775,152,984口	758,400,049口	737,215,854口	738,316,341口
1口当り基準価額(C/D)	5,555円	5,078円	5,755円	5,737円	5,566円	5,531円

* 第41期末における元本額は1,161,014,341円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は30,556,452円、同解約元本額は453,254,452円です。

* 第47期末の計算口数当りの純資産額は5,531円です。

* 第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は329,952,910円です。

■損益の状況

第42期 自2018年7月18日 至2018年8月17日 第45期 自2018年10月18日 至2018年11月19日
第43期 自2018年8月18日 至2018年9月18日 第46期 自2018年11月20日 至2018年12月17日
第44期 自2018年9月19日 至2018年10月17日 第47期 自2018年12月18日 至2019年1月17日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配当等収益	8,027,255円	7,197,828円	5,311,155円	6,739,296円	5,315,996円	5,478,317円
受取配当金	8,027,507	7,198,168	5,311,770	6,739,521	5,316,194	5,478,351
受取利息	－	－	3	1	1	－
支払利息	△ 252	△ 340	△ 618	△ 226	△ 199	△ 34
(B) 有価証券売買損益	△ 19,133,626	△ 43,952,625	53,787,868	△ 1,560,548	△ 11,419,369	△ 1,756,344
売買益	1,473,115	3,265,906	55,576,260	21,728	560,762	1
売買損	△ 20,606,741	△ 47,218,531	△ 1,788,392	△ 1,582,276	△ 11,980,131	△ 1,756,345
(C) 信託報酬等	△ 656,376	△ 566,699	△ 429,527	△ 487,064	△ 397,561	△ 424,871
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 11,762,747	△ 37,321,496	58,669,496	4,691,684	△ 6,500,934	3,297,102
(E) 前期繰越損益金	△173,062,081	△178,526,323	△183,770,776	△127,679,983	△123,378,201	△135,776,861
(F) 追加信託差損益金	△256,622,873	△239,464,954	△197,757,695	△194,230,193	△191,078,656	△191,566,621
(配当等相当額)	(243,274,960)	(226,341,799)	(186,629,429)	(182,757,590)	(178,065,287)	(178,360,898)
(売買損益相当額)	(△499,897,833)	(△465,806,753)	(△384,387,124)	(△376,987,783)	(△369,143,943)	(△369,927,519)
(G) 合計(D+E+F)	△441,447,701	△455,312,773	△322,858,975	△317,218,492	△320,957,791	△324,046,380
(H) 収益分配金	△ 8,090,394	△ 7,522,640	△ 6,201,223	△ 6,067,200	△ 5,897,726	△ 5,906,530
次期繰越損益金(G+H)	△449,538,095	△462,835,413	△329,060,198	△323,285,692	△326,855,517	△329,952,910
追加信託差損益金	△256,622,873	△239,464,954	△197,757,695	△194,230,193	△191,078,656	△191,566,621
(配当等相当額)	(243,274,960)	(226,341,799)	(186,629,429)	(182,757,590)	(178,065,287)	(178,360,898)
(売買損益相当額)	(△499,897,833)	(△465,806,753)	(△384,387,124)	(△376,987,783)	(△369,143,943)	(△369,927,519)
分配準備積立金	31,510,640	28,268,855	22,328,597	21,897,604	19,955,013	19,101,929
繰越損益金	△224,425,862	△251,639,314	△153,631,100	△150,953,103	△155,731,874	△157,488,218

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」を参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,370,879円	6,631,129円	5,272,541円	6,252,232円	4,918,435円	5,053,446円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	243,274,960	226,341,799	186,629,429	182,757,590	178,065,287	178,360,898
(d) 分配準備積立金	32,230,155	29,160,366	23,257,279	21,712,572	20,934,304	19,955,013
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	282,875,994	262,133,294	215,159,249	210,722,394	203,918,026	203,369,357
(f) 分配金	8,090,394	7,522,640	6,201,223	6,067,200	5,897,726	5,906,530
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	274,785,600	254,610,654	208,958,026	204,655,194	198,020,300	197,462,827
(h) 受益権総口数	1,011,299,280口	940,330,053口	775,152,984口	758,400,049口	737,215,854口	738,316,341口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

α100コース

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J P モ ル ガ ン GBI-EM ブロード・ ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末 (2016年 8 月17日)	6,904	120	0.4	8,507	△ 2.3	0.0	99.4	609
19期末 (2016年 9 月20日)	6,745	120	△ 0.6	8,474	△ 0.4	—	99.4	664
20期末 (2016年10月17日)	7,040	120	6.2	9,101	7.4	0.0	95.9	882
21期末 (2016年11月17日)	6,763	120	△ 2.2	8,803	△ 3.3	0.0	99.6	1,105
22期末 (2016年12月19日)	7,019	120	5.6	9,791	11.2	0.0	98.3	1,295
23期末 (2017年 1 月17日)	7,098	120	2.8	10,294	5.1	0.0	93.9	1,647
24期末 (2017年 2 月17日)	7,312	120	4.7	10,964	6.5	0.0	98.6	2,011
25期末 (2017年 3 月17日)	7,273	120	1.1	11,048	0.8	0.0	99.5	2,482
26期末 (2017年 4 月17日)	7,036	120	△ 1.6	10,571	△ 4.3	0.0	99.8	2,777
27期末 (2017年 5 月17日)	7,204	120	4.1	11,375	7.6	0.0	99.3	3,491
28期末 (2017年 6 月19日)	6,657	120	△ 5.9	10,503	△ 7.7	0.0	99.7	3,954
29期末 (2017年 7 月18日)	6,802	120	4.0	11,218	6.8	—	98.3	4,869
30期末 (2017年 8 月17日)	6,688	120	0.1	11,246	0.2	—	99.2	5,939
31期末 (2017年 9 月19日)	6,750	120	2.7	11,667	3.7	—	99.5	6,595
32期末 (2017年10月17日)	6,601	120	△ 0.4	11,696	0.3	—	99.7	7,089
33期末 (2017年11月17日)	6,288	120	△ 2.9	11,353	△ 2.9	—	99.2	6,950
34期末 (2017年12月18日)	6,188	120	0.3	11,351	△ 0.0	—	99.4	7,311
35期末 (2018年 1 月17日)	6,260	120	3.1	11,582	2.0	—	99.4	7,613
36期末 (2018年 2 月19日)	6,011	120	△ 2.1	11,260	△ 2.8	—	99.3	7,485
37期末 (2018年 3 月19日)	5,919	120	0.5	11,232	△ 0.3	—	98.0	7,525
38期末 (2018年 4 月17日)	5,723	120	△ 1.3	10,987	△ 2.2	—	99.0	7,438
39期末 (2018年 5 月17日)	5,381	120	△ 3.9	10,479	△ 4.6	—	98.9	7,348
40期末 (2018年 6 月18日)	4,893	120	△ 6.8	9,955	△ 5.0	—	99.0	6,742
41期末 (2018年 7 月17日)	4,853	120	1.6	10,032	0.8	—	98.9	7,070
42期末 (2018年 8 月17日)	4,611	120	△ 2.5	9,834	△ 2.0	—	99.5	7,059
43期末 (2018年 9 月18日)	4,177	120	△ 6.8	9,314	△ 5.3	—	99.1	6,430
44期末 (2018年10月17日)	4,544	80	10.7	10,910	17.1	—	99.0	7,073
45期末 (2018年11月19日)	4,535	80	1.6	11,085	1.6	—	99.1	6,733
46期末 (2018年12月17日)	4,403	80	△ 1.1	10,840	△ 2.2	—	99.3	6,396
47期末 (2019年 1 月17日)	4,389	80	1.5	11,037	1.8	—	98.5	6,413

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は 、 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) を も と に 円 換 算 し 、 当 フ ァ ン ド 設 定 日 を 10,000 と し て 大 和 投 資 信 託 が 計 算 し た も の で す 。 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) は 、 信 頼 性 が 高 い と み な す 情 報 に 基 づ き 作 成 し て い ま す が 、 J . P . M o r g a n は そ の 完 全 性 ・ 正 確 性 を 保 証 す る も の で は あ り ま せ ン 。 本 指 数 は 許 諾 を 受 け て 使 用 し て い ま す 。 J . P . M o r g a n か ら の 書 面 に よ る 事 前 承 認 な し に 本 指 数 を 複 製 ・ 使 用 ・ 頒 布 す る こ と は 認 め ら れ て い ま せ ン 。 Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

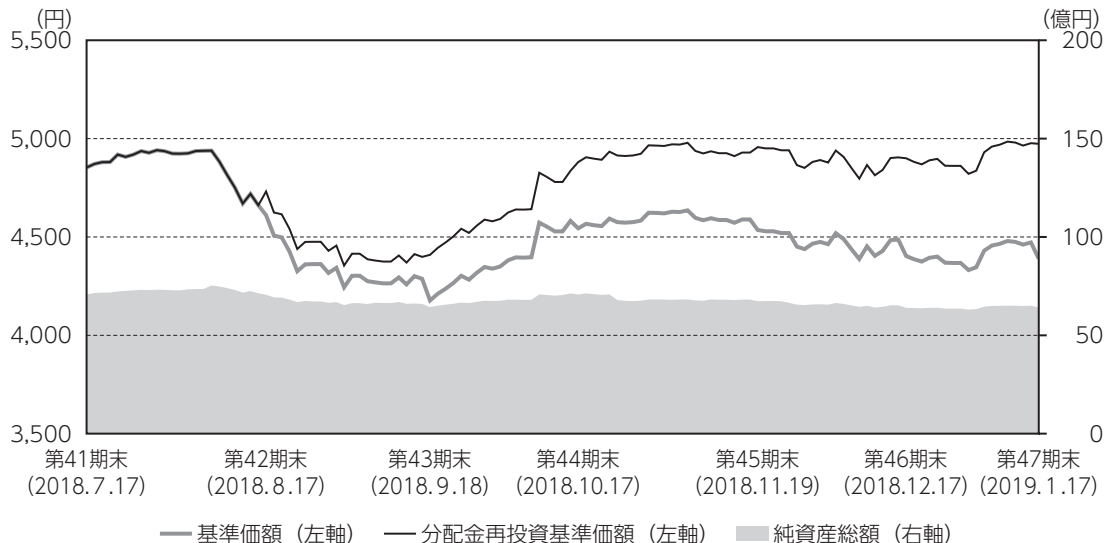
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第42期首：4,853円

第47期末：4,389円（既払分配金560円）

騰 落 率：2.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、為替相場の下落は基準価額の下落要因となりましたが、債券の利息収入やオプションのプレミアム収入、債券価格の上昇は基準価額の上昇要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2018年 7 月17日	円 4,853	% -	10,032	% -	% -	% 98.9
	7 月末	4,936	1.7	10,372	3.4	-	99.3
	(期末) 2018年 8 月17日	4,731	△ 2.5	9,834	△ 2.0	-	99.5
第43期	(期首) 2018年 8 月17日	4,611	-	9,834	-	-	99.5
	8 月末	4,244	△ 8.0	9,133	△ 7.1	-	99.5
	(期末) 2018年 9 月18日	4,297	△ 6.8	9,314	△ 5.3	-	99.1
第44期	(期首) 2018年 9 月18日	4,177	-	9,314	-	-	99.1
	9 月末	4,347	4.1	9,894	6.2	-	98.9
	(期末) 2018年10月17日	4,624	10.7	10,910	17.1	-	99.0
第45期	(期首) 2018年10月17日	4,544	-	10,910	-	-	99.0
	10月末	4,622	1.7	11,195	2.6	-	99.3
	(期末) 2018年11月19日	4,615	1.6	11,085	1.6	-	99.1
第46期	(期首) 2018年11月19日	4,535	-	11,085	-	-	99.1
	11月末	4,475	△ 1.3	10,864	△ 2.0	-	99.2
	(期末) 2018年12月17日	4,483	△ 1.1	10,840	△ 2.2	-	99.3
第47期	(期首) 2018年12月17日	4,403	-	10,840	-	-	99.3
	12月末	4,332	△ 1.6	10,775	△ 0.6	-	99.0
	(期末) 2019年 1 月17日	4,469	1.5	11,037	1.8	-	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.7.18～2019.1.17)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

大統領選挙において、市場に不人気なルラ元大統領の出馬が認められず、構造改革に理解を示すボルソナロ氏が優位に立つと、金利は低下しました。ボルソナロ氏が大統領選挙に勝利した後も、改革姿勢を示したことに加えてインフレ率が低位推移となり、ブラジル中央銀行の利上げ観測が後退したことなどから、金利は一段と低下しました。

■為替相場

ブラジル・レアルの対円為替相場はわずかに下落しました。

2018年8月に、新興国市場への懸念からブラジル・レアルは対円で下落しましたが、その後は、大統領選挙の結果を好感してレアルは買い戻されました。2018年末にかけては、世界的な株価調整を背景としたリスク回避的な円買いもあり、レアルは対円で当作成期首と比べてわずかに下落して当作成期末を迎えました。

■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）は、わずかに低下しました。

インプライド・ボラティリティは、大統領選挙前には不透明感から上昇しましたが、大統領選挙後は低下しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α100クラス）

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018.7.18～2019.1.17)

■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

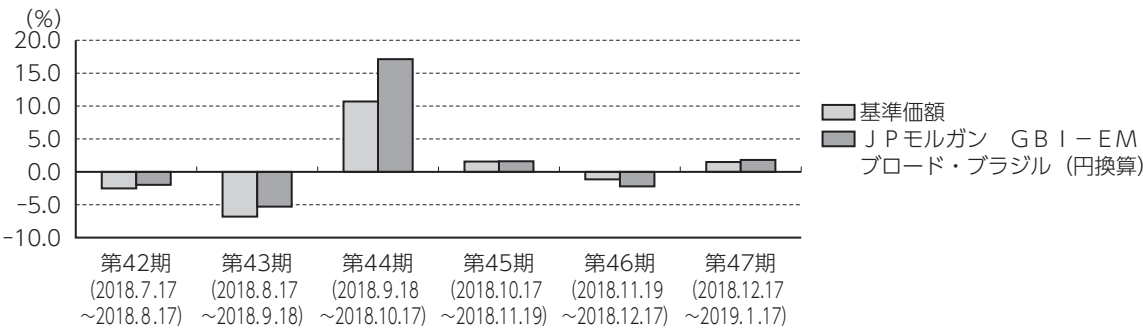
通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2018年7月18日 ～2018年8月17日	2018年8月18日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月17日	2018年10月18日 ～2018年11月19日	2018年11月20日 ～2018年12月17日	2018年12月18日 ～2019年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	120	120	80	80	80	80
対基準価額比率（％）	2.54	2.79	1.73	1.73	1.78	1.79
当期の収益（円）	89	85	78	80	80	80
当期の収益以外（円）	30	34	1	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,719	3,686	3,686	3,706	3,708	3,712

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 89.14円	✓ 85.64円	✓ 78.87円	✓ 98.97円	✓ 81.72円	✓ 84.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,560.06	3,567.02	3,569.73	3,573.12	3,573.96	3,576.35
(d) 分配準備積立金	✓ 190.55	✓ 154.27	✓ 117.76	114.09	132.34	132.40
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,839.76	3,806.94	3,766.37	3,786.19	3,788.03	3,792.87
(f) 分配金	120.00	120.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,719.76	3,686.94	3,686.37	3,706.19	3,708.03	3,712.87

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期 (2018.7.18～2019.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0.611%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,508円です。
（投 信 会 社）	(10)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(17)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.037	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0.037)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0.652	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	49,508,188	96	51,663,348	19

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

第 42 期				～	第 47 期			
買		付			売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	15,994,218	93	25		DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	51,663,348	1,260,474	24

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島）	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	260,415,394	16	98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	49	49

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年1月17日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,317,677	96.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	225,888	3.5
投資信託財産総額	6,543,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2018年8月17日）、（2018年9月18日）、（2018年10月17日）、（2018年11月19日）、（2018年12月17日）、（2019年1月17日）現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
(A) 資産	7,274,298,514円	6,674,802,590円	7,204,957,718円	6,860,000,848円	6,531,419,544円	6,543,615,582円
コール・ローン等	249,475,637	301,309,806	199,370,203	189,809,140	182,882,160	225,888,214
投資信託受益証券(評価額)	7,024,772,952	6,373,442,864	7,005,537,595	6,670,141,793	6,348,487,473	6,317,677,462
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,925	49,920	49,920	49,915	49,911	49,906
(B) 負債	214,670,713	244,766,914	131,825,348	126,514,875	135,080,662	129,932,675
未払収益分配金	183,705,879	184,731,586	124,524,447	118,785,903	116,204,657	116,905,513
未払解約金	23,393,537	52,795,090	613,308	－	12,506,469	6,144,941
未払信託報酬	7,519,374	7,141,449	6,546,072	7,533,049	6,135,845	6,603,136
その他未払費用	51,923	98,789	141,521	195,923	233,691	279,085
(C) 純資産総額(A－B)	7,059,627,801	6,430,035,676	7,073,132,370	6,733,485,973	6,396,338,882	6,413,682,907
元本	15,308,823,325	15,394,298,905	15,565,555,994	14,848,237,925	14,525,582,139	14,613,189,226
次期繰越損益金	△ 8,249,195,524	△ 8,964,263,229	△ 8,492,423,624	△ 8,114,751,952	△ 8,129,243,257	△ 8,199,506,319
(D) 受益権総口数	15,308,823,325口	15,394,298,905口	15,565,555,994口	14,848,237,925口	14,525,582,139口	14,613,189,226口
1万口当り基準価額(C/D)	4,611円	4,177円	4,544円	4,535円	4,403円	4,389円

* 第41期末における元本額は14,568,095,900円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は2,295,651,467円、同解約元本額は2,250,558,141円です。

* 第47期末の計算口数当りの純資産額は4,389円です。

* 第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,199,506,319円です。

■損益の状況

第42期 自2018年7月18日 至2018年8月17日 第45期 自2018年10月18日 至2018年11月19日
第43期 自2018年8月18日 至2018年9月18日 第46期 自2018年11月20日 至2018年12月17日
第44期 自2018年9月19日 至2018年10月17日 第47期 自2018年12月18日 至2019年1月17日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配当等収益	144,051,500円	139,028,636円	123,936,286円	154,543,787円	124,896,697円	129,574,181円
受取配当金	144,057,392	139,033,969	123,940,430	154,549,218	124,898,815	129,574,840
受取利息	－	19	－	128	4	－
支払利息	△ 5,892	△ 5,352	△ 4,144	△ 5,559	△ 2,122	△ 659
(B) 有価証券売買損益	△ 328,809,205	△ 602,931,967	573,844,430	△ 43,312,912	△ 193,057,795	△ 27,988,725
売買益	1,438,536	15,918,296	575,145,952	3,054,271	4,107,241	242,492
売買損	△ 330,247,741	△ 618,850,263	△ 1,301,522	△ 46,367,183	△ 197,165,036	△ 28,231,217
(C) 信託報酬等	△ 7,575,053	△ 7,191,669	△ 6,591,070	△ 7,589,016	△ 6,180,080	△ 6,652,927
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 192,332,758	△ 471,095,000	691,189,646	103,641,859	△ 74,341,178	94,932,529
(E) 前期繰越損益金	△ 2,441,767,731	△ 2,737,235,624	△ 3,369,217,034	△ 2,615,207,109	△ 2,559,329,296	△ 2,731,931,450
(F) 追加信託差損益金	△ 5,431,389,156	△ 5,571,201,019	△ 5,689,871,789	△ 5,484,400,799	△ 5,379,368,126	△ 5,445,601,885
(配当等相当額)	(5,450,034,736)	(5,491,186,985)	(5,556,494,920)	(5,305,464,647)	(5,191,387,492)	(5,226,200,287)
(売買損益相当額)	(△10,881,423,892)	(△11,062,388,004)	(△11,246,366,709)	(△10,789,865,446)	(△10,570,755,618)	(△10,671,802,172)
(G) 合計(D + E + F)	△ 8,065,489,645	△ 8,779,531,643	△ 8,367,899,177	△ 7,995,966,049	△ 8,013,038,600	△ 8,082,600,806
(H) 収益分配金	△ 183,705,879	△ 184,731,586	△ 124,524,447	△ 118,785,903	△ 116,204,657	△ 116,905,513
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,249,195,524	△ 8,964,263,229	△ 8,492,423,624	△ 8,114,751,952	△ 8,129,243,257	△ 8,199,506,319
追加信託差損益金	△ 5,431,389,156	△ 5,571,201,019	△ 5,689,871,789	△ 5,484,400,799	△ 5,379,368,126	△ 5,445,601,885
(配当等相当額)	(5,450,034,736)	(5,491,186,985)	(5,556,494,920)	(5,305,464,647)	(5,191,387,492)	(5,226,200,287)
(売買損益相当額)	(△10,881,423,892)	(△11,062,388,004)	(△11,246,366,709)	(△10,789,865,446)	(△10,570,755,618)	(△10,671,802,172)
分配準備積立金	244,487,536	184,602,180	181,546,130	197,579,019	194,756,166	199,501,070
繰越損益金	△ 3,062,293,904	△ 3,577,664,390	△ 2,984,097,965	△ 2,827,930,172	△ 2,944,631,297	△ 2,953,405,504

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	136,476,446円	131,836,967円	122,765,712円	146,954,771円	118,716,617円	122,921,254円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,450,034,736	5,491,186,985	5,556,494,920	5,305,464,647	5,191,387,492	5,226,200,287
(d) 分配準備積立金	291,716,969	237,496,799	183,304,865	169,410,151	192,244,206	193,485,329
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,878,228,151	5,860,520,751	5,862,565,497	5,621,829,569	5,502,348,315	5,542,606,870
(f) 分配金	183,705,879	184,731,586	124,524,447	118,785,903	116,204,657	116,905,513
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	5,694,522,272	5,675,789,165	5,738,041,050	5,503,043,666	5,386,143,658	5,425,701,357
(h) 受益権総口数	15,308,823,325□	15,394,298,905□	15,565,555,994□	14,848,237,925□	14,525,582,139□	14,613,189,226□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万 口 当 り 分 配 金	120円	120円	80円	80円	80円	80円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド
α50クラス／α100クラス

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド α50クラス／α100クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年1月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書
2018年5月31日

資産	
金融資産（損益通算後の評価額）	\$ 69,671,609
現金および現金同等物	1,650,745
未収：	
利息	78,406
売却済み証券	1,476
資産合計	71,402,236
負債	
金融負債（損益通算後の評価額）	9,746
未払：	
受益証券の買戻し	975,655
報酬代行会社報酬	25,317
保管会社報酬	24,104
専門家報酬	17,768
副投資運用会社報酬	15,759
管理会社報酬	7,502
受託会社報酬	3,014
名義書換代理人報酬	2,547
購入済み証券	248
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	1,081,660
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$ 70,320,576

包括利益計算書

2018年5月31日に終了した年度

収益

受取利息	\$ 5,498,407
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現利益	2,249,751
外国為替取引による純実現損失	(152,449)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価（損）／益の純変動	(8,746,297)
外国為替換算による評価（損）／益の純変動	(4,561)
（損失）／収益合計	(1,155,149)

費用

副投資運用会社報酬	175,980
保管会社報酬	147,365
報酬代行会社報酬	140,784
管理会社報酬	45,739
受託会社報酬	18,848
専門家報酬	17,250
名義書換代理人報酬	16,531
登録料	767
費用合計	563,264

金融費用控除前営業（損失）／利益	(1,718,413)
------------------	-------------

金融費用

償還可能受益証券の所有者への分配金	(18,592,431)
金融費用合計	(18,592,431)

分配後および税引き前損失	(20,310,844)
--------------	--------------

源泉徴収税	(649,558)
-------	-----------

運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	\$ (20,960,402)
----------------------------------	-----------------

投資明細表
2018年5月31日

債券	
ブラジル	
NOTA DO TESO 10% 01/01/23/BRL/	\$ 11,573,585.21
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/	11,723,057.16
NOTA DO TESOU 6% 08/15/22/BRL/	14,358,108.11
LETRA TESOUR ZCP 07/01/20/BRL/	3,296,618.73
LETRA TESOUR ZCP 01/01/20/BRL/	4,527,582.07
NOTA DO TESO 10% 01/01/29/BRL/	1,790,147.02
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/	10,140,292.42
LETRA TESOUR ZCP 01/01/19/BRL/	6,461,439.83
NOTA DO TESO 10% 01/01/27/BRL/	5,800,778.48
ブラジル計	69,671,609.03
債券計	69,671,609.03

仕組スワップ契約				
α100クラス - 2018年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.0%）				
戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2018/6/5	Credit Suisse International	\$ 69,259,803	\$ (9,281)
α50クラス - 2018年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.0%）				
戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2018/6/5	Credit Suisse International	\$ 6,939,393	\$ (465)

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第47期の決算日（2019年1月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を26ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
757 国庫短期証券 2018/8/13		千円 50,000			千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年1月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

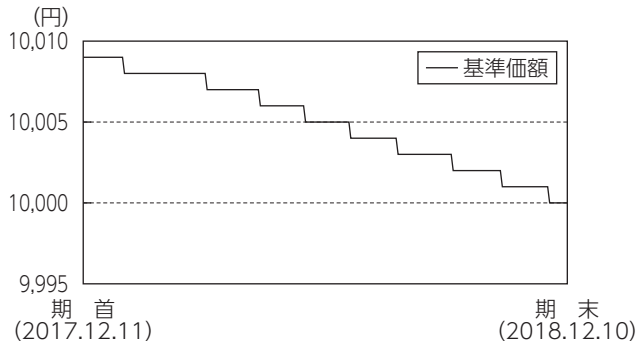
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
(期首)2017年12月11日	円 10,009	% —	% —
12月末	10,009	0.0	—
2018年 1 月末	10,008	△0.0	—
2 月末	10,008	△0.0	0.5
3 月末	10,007	△0.0	—
4 月末	10,006	△0.0	—
5 月末	10,005	△0.0	—
6 月末	10,005	△0.0	—
7 月末	10,004	△0.0	—
8 月末	10,003	△0.1	—
9 月末	10,002	△0.1	—
10月末	10,001	△0.1	—
11月末	10,000	△0.1	—
(期末)2018年12月10日	10,000	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,009円 期末：10,000円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 180,001	千円 — (180,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	千円 90,000		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	50,000		
731 国庫短期証券 2018/7/10	40,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	9,019,491	100.0
投資信託財産総額	9,019,491	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,019,491,424円
コール・ローン等	9,019,491,424
(B) 負債	745,957
その他未払費用	745,957
(C) 純資産総額(A－B)	9,018,745,467
元本	9,018,625,641
次期繰越損益金	119,826
(D) 受益権総口数	9,018,625,641口
1万口当り基準価額(C／D)	10,000円

* 期首における元本額は17,399,953,390円、当作成期間中における追加設定元本額は2,846,717,287円、同解約元本額は11,228,045,036円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワノバリュー・パートナーズ・チャイナ・インベーター・ファンド10,000円、ダイワノB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワノB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ14,873,813円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－ 858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 6－ 2,475,152,803円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 7－ 828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 4－ 1,078,808,907円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－ 2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース1,605,380,447円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・リアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワノB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）1,235円、ダイワノB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,598円、通貨選択型 ダイワノB・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型 ダイワノB・米国債券戦略ファ

ンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,977,479円
受取利息	2,652
支払利息	△ 5,980,131
(B) その他費用	△ 4,966,849
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 10,944,328
(D) 前期繰越損益金	15,761,364
(E) 解約差損益金	△ 5,797,371
(F) 追加信託差損益金	1,100,161
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	119,826
次期繰越損益金(G)	119,826

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。